

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2015年 5月 13日

No.23

夏季手当交渉スタート！

基準内賃金の2.6ヶ月を要求！

回答指定日 6月12日 支払日 7月 6日

中央本部は、本日16時00分より2015年度夏季手当の申し入れを行いました。申し入れにあたり中央本部は①貨物労組は夏季手当2.6ヶ月を要求する。②15春闘ではベアにこだわったがベア実現に至らなかった。また期末手当はこの2年間会社の言う生活給の年間3ヶ月をも下回る結果となっている。③平成26年度決算は大幅な黒字を計上した。今年度も順調に推移している。要求に対して満額回答で応えるべきであり、要求を下回るような根拠は一切ない。④この間の組合員の努力に報いるべく、会社は貨物労組の要求を真摯に受け止め誠意ある回答を示すことを主張しました。

会社「組合の趣旨は真摯に受け止め、今後議論していく」

これに対して会社は、①平成26年度は、大きな災害があったにもかかわらず社員、役員が一丸となって努力した結果としての黒字決算であったと認識している。②災害やコスト増にもかかわらず鉄道事業の営業損失が対前年比7億円増で収まったことは、貨物会社の基礎体力はついてきていると認識している。③貴組合からの申し入れにあたっての趣旨はしっかりと受け止め、今後交渉を積み上げていきたい。と現段階における考え方を明らかにしました。

組合「組合員の努力に報いることは経営陣の責務だ！！」

これに対して中央本部は、①平成26年度決算に表れた数字はまさしく組合員の努力の結果である。②基礎体力がついてきたというが、職場では欠員や輪転資材不足等が常態化している中、安全確保と安定輸送の確立に日々全力で頑張っている。この苦労に会社は応えるべきである。③「社員を大切にする」という姿勢であれば経営陣は回答で示されたい。④経営基盤の根幹は職場であり、そこに働く組合員である。組合員の士気を高めるためにもこれまでの努力に報いること。⑤その覚悟と姿勢を経営陣が具体的に示すこと通告し、第1回交渉を終了しました。

組合員の皆さん！本日より夏季手当交渉がスタートしました。中央本部はこの間の組合員の努力に報いるために全力で交渉していくことを決意して第1回交渉報告とします。

以上

次回、第2回交渉は5月21日（木）です。